

2013年度の保険事故・保険金支払の特色

独立行政法人日本貿易保険
債権業務部

1. はじめに

今回は「2013年度の保険事故の特色」についてご紹介いたします。

2013年度の保険事故発生状況は、件数・金額ともに対前年度比で減少となりました。一方、保険金支払については、信用危険事故が件数・金額ともに増加となり、過去5年間では最大の保険金支払いとなりました。

次項から、詳細データを示しながら、具体的にご説明させていただきます。

2. 2013年度の保険事故発生と保険金支払いの実績

(1) 信用危険／非常危険別の推移

(単位: 百万円)

区分	危険区分		2011 年度	2012 年度	2013 年度	前年度比
事故発生 (注1)	信用危険事故	金額	3,974	16,262	7,448	45.8%
		件数(注2)	55(133)	54(201)	57(230)	105.6%
	非常危険事故	金額	11,333	23,303	22,522	96.6%
		件数	21(99)	33(522)	22(438)	66.7%
	金額合計		15,307	39,565	29,970	75.7%
	件数合計		76(232)	87(723)	79(668)	90.8%
保険金支払	信用危険事故	金額	7,017	3,993	11,798	295.5%
		件数	13(34)	15(57)	15(377)	100.0%
	非常危険事故	金額	1,342	424	436	102.8%
		件数	5(25)	2(2)	1(9)	50.0%
	金額合計		8,359	4,416	12,234	277.0%
	件数合計		18(59)	17(59)	16(386)	94.1%

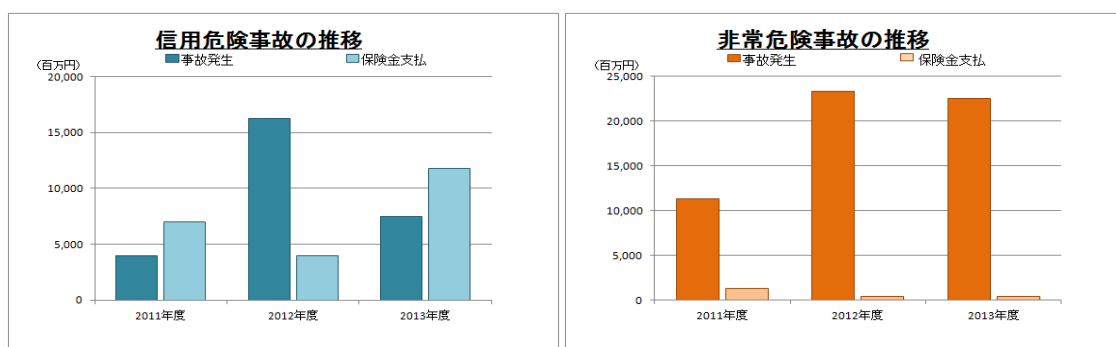
注1: 事故発生は、各年度内に受理した危険発生通知・損失発生通知(売買契約上の決済期日を一定期間経過した場合等にお客様よりNEXI宛てにいただく通知)に基づく計数。

注2: 件数はバイヤー数。()内の数字は事故発生通知書又は保険金請求書(バイヤーが同一であっても、保険証券・決済期日等が異なる場合は複数となる)の件数。以下の表においても同じ。

2013年度の事故発生状況については、全体(信用危険＋非常危険)で299.7億円の危険発生・損失発生通知書が提出されました。信用危険事故については、2012年度は欧州通貨危機や大型信用事故発生の影響もあり、金額で見ると2011年度対比で大幅な増加となりましたが、2013年度は経済危機が収束に向かったことや、特に大型事故の発生がなかったことなどに伴い、減少に転じました。

実際の保険金支払いについては、2013年度は全体で122.3億円を支払いました。信用危険事故については、過年度に発生した大型案件の保険金支払いがあったことから、前年度対比で増加となりました。非常危険事故については、ほぼ前年並みとなっています。

<2011年度～2013年度の事故の推移>



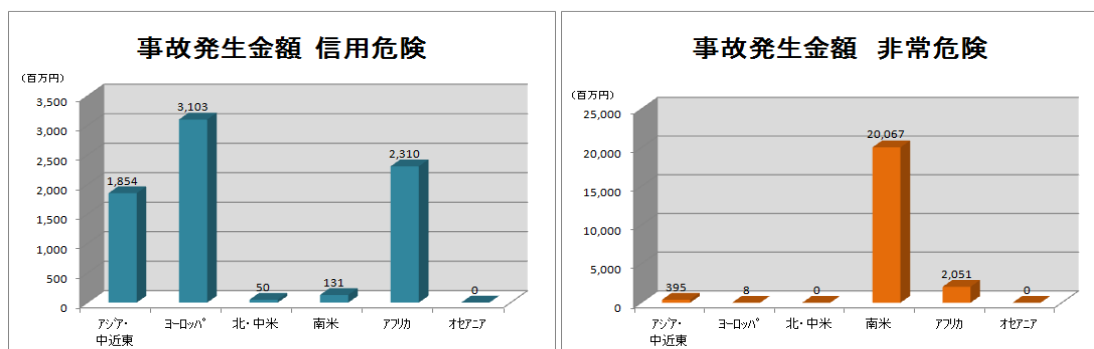
(2) 地域別

<2013年度の地域別実績>

(単位:百万円)

地域	事故発生金額		保険金支払金額	
	信用危険	非常危険	信用危険	非常危険
アジア・中近東	1,854	395	9,937	436
ヨーロッパ	3,103	8	1,777	0
北・中米	50	0	79	0
南米	131	20,067	5	0
アフリカ	2,310	2,051	0	0
オセアニア	0	0	0	0
合計	7,448	22,522	11,798	436

<2013年度の地域別事故発生金額>



①事故発生状況

2013年度の信用危険事故は、ヨーロッパ、アフリカ、アジアで多く発生しています。非常危険事故は、南米が9割を占めています。南米は「為替取引の制限」による事故、アフリカは「外貨送金遅延」等による事故、中東は「経済制裁」等による事故が発生しています。

②保険金支払い状況

2013年度は全体では122.3億円を支払いましたが、その内、アジア・中近東の103.7億円(85%)とヨーロッパの17.8億円(15%)で太宗を占めております。

非常危険事故については、中東で4.4億円(100%)を支払いました。信用危険事故については、アジア・中近東で99.4億円(84%)、次いでヨーロッパで17.8億円(15%)を支払いました。

3. 2013年度信用危険事故の事故発生状況の分析

(1) 保険種別(短・中長期)

保険種		包括区分	金額(百万円)	構成比	件数	構成比
短期	貿易一般	企業総合	3,411	45.8%	14(85)	24.6%
		一般企業	252	3.4%	1(6)	1.8%
		組合	224	3.0%	6(9)	10.5%
		個別	588	7.9%	19(34)	33.3%
	限度額設定型	－	361	4.9%	3(9)	5.3%
	輸出手形	－	12	0.2%	1(3)	1.8%
	簡易通知型包括	－	111	1.5%	2(54)	3.5%
	再保険(受再)	－	36	0.5%	1(6)	1.8%
	中小企業	－	87	1.2%	9(20)	15.8%
中長期	貿易代金貸付	－	2,365	31.8%	1(4)	1.8%
	海外投資	－	0	0.0%	0	0.0%
	海外事業資金貸付	－	0	0.0%	0	0.0%
合計			7,448	100.0%	57(230)	100.0%

保険種毎の信用危険事故の発生状況は、金額ベースでは企業総合保険と代金貸付保険で全体の約8割を占めています。2012年度との対比では、組合包括保険での事故発生金額が減少した一方、企業総合保険での事故発生金額が増加しました。

(2) バイヤー格付別(短期)

危険区分	バイヤ格付ー引受時	金額(百万円)	構成比	バイヤー数	構成比
信用危険	GA	49	1.0%	1	1.8%
	GE	67	1.3%	2	3.6%
	EA	2,172	42.7%	5	8.9%
	EF	2,795	55.0%	48	85.7%
合計		5,083	100.0%	56	100.0%

バイヤー格付別では、件数ベースでみると、8割以上がEF格で発生しています。

※バイヤー格付けの内容はこちらのHPを御覧ください

<http://www.nexi.go.jp/product/confidence/>

(3) てん補範囲別

危険区分	てん補範囲	金額(百万円)	構成比	件数	構成比
信用危険	船積前	0	0.0%	0	0.0%
	船積後	7,448	100.0%	57(230)	100.0%
合計		7,448	100.0%	57(230)	100.0%

2013年度は「船積前」事故の発生はありませんでした。

4. おわりに

2013年度における NEXI の保険金支払い総額は前年を上回る水準となりました。ベルン・ユニオン※の統計においても、全世界ベースでの保険金支払い総額は2009年の5,446百万ドルをピークに、2010年、2011年は3,000百万ドル台に減少したものの、2012年は4,560百万ドル、2013年は4,500百万ドルと再び4,000百万ドル台で推移しています。2014年度も、引き続き緊張の続く中東・北アフリカ情勢や南米における外貨債務リスクに加え、ウクライナ情勢等を踏まえますと、大型の保険事故・保険金支払につながる可能性が高まりつつあります。

(※ベルン・ユニオン：各国の輸出保険機関が加盟している国際輸出信用保険機構)

お客様におかれましては、引き続き損失防止・軽減へのご協力をお願いいたします。NEXI としましても、ご相談に応じておりますので、万が一、保険事故が発生しましたら、下記までご連絡頂きますようお願いいたします。

また、保険事故等に関連して、保険の内容や保険金請求等の各種手続き等について、ご質問・ご不明な点等がございましたら、ご遠慮なく NEXI の下記窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ先： 日本貿易保険(NEXI)債権業務部 査定グループ
TEL: 0120-673-094(フリーダイヤル)

以上